

中部圏けんせつ未来懇話会

参考資料

中部圏建設担い手育成ネットワーク協議会

中部地方整備局管内（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）の各県建設業協会等が、広報戦略を効果的に進め、建設業の魅力を発信し、入職促進を図る目的で平成25年11月に設立した協議会。行政機関はオブザーバーで参加。

構 成

構成員

学識経験者
東海工業専門学校 金山校
岐阜県建設業協会
愛知県建設業協会
三重県建設業協会
静岡県建設業協会
日本建設業連合会 中部支部
建設産業専門団体中部地区連合会

オブザーバー

中部地方整備局
愛知労働局
愛知県建設部
岐阜労務局
静岡労務局
三重労務局
岐阜県県土整備部
静岡県交通基盤部
三重県県土整備部

取り組み内容

- 新規入職者歓迎交流会
- 建設技能者に対する表彰制度
- 建設業入職案内ポータルサイト、
- メルマガの発信
- 災害時における建設企業の活動状況の集約
- 広報用DVD作成
- 建設若者塾
- 学校関係への出前講座の実施
- 休日休工の促進
- 求人情報における取組
- Webサイトを活用した発信等
- 各県建設業協会等の取組状況の共有

建設業を紹介するDVD「建設業 夢を形にする世界」(平成26年度)

中部圏建設担い手育成ネットワーク協議会(管内各建設業界、日建連、建専連等)では、学生向けに、建設業を紹介するDVD(約13分)を作成しました。

- ・工業高校など学校の進路指導の先生が建設業をさっと、わかりやすく生徒や親にそのイメージを伝えるという目的で作成されました。
- ・案内人にアイドルを起用し、多くの人々が工事完成に向けて協力して進んでいく建設業の姿を、自分たちの世界と共感する視点でわかりやすく説明しています。
- ・地元の工事現場や学校をとりあげ、地域に親しみやすい内容にしています。
- ・管内の工業高校や図書館に配布し、出前講座などでも活用する予定です。

平成27年5月8日
中日新聞(朝刊)1面掲載

建設業
魅力は
アイドル級

人材確保へ
業界、DVDにアイドル起用

【DVDパッケージ、内容】 →

(名古屋駅前ビル現場の紹介)



(建設業の活躍 26年7月南木曾町)



(建設系専門学校の紹介)



(学生たちの夢を発表)



二級土木施工管理技士を目指し、「自分のつくれた道路や橋を走る！」



中部圏建設担い手育成ネットワーク協議会(平成27年度 広報戦略)

中部圏建設業新人歓迎フォーラム (新規案件)

平成27年度に中部圏の建設企業への新規入職者を対象とした交流会を開催することにより、同世代間のネットワークを構築する



新規入職者歓迎会のイメージ

建設技能者に対する表彰制度 (新規案件)

優良工事表彰において今まで表彰されてこなかった技能労働者個人を表彰することにより、個人のモチベーションを高める。



若表彰イメージ

各県建設業協会の取組の充実 (新規案件)

各県建設業協会等が開催する研修、現場見学会の情報を集約・共有することにより、その効果などを検証し、効果的な方法を検討する。

建設若者塾の開催 (継続・拡充)

建設業界に入職して概ね2~5年以内の若年建設業従事者が、講義や現場見学をともに受講することにより建設業の職業観・就労意識の形成・向上を図りつつ、若者同士の交流・ネットワークづくりを促進させ、ひいては若年者の離職を防止することを主たる目的とする。



建設若者塾での交流会の様子

学校関係への出前講座の実施 (継続・拡充)

津波・地震などの災害対応における建設業の役割などを内容とする出前講座を中学、高校を対象に実施。



学校関係への出前講座の様子

○旬な現場(平成24年5月～)

みんなで行こう!

平成27年度

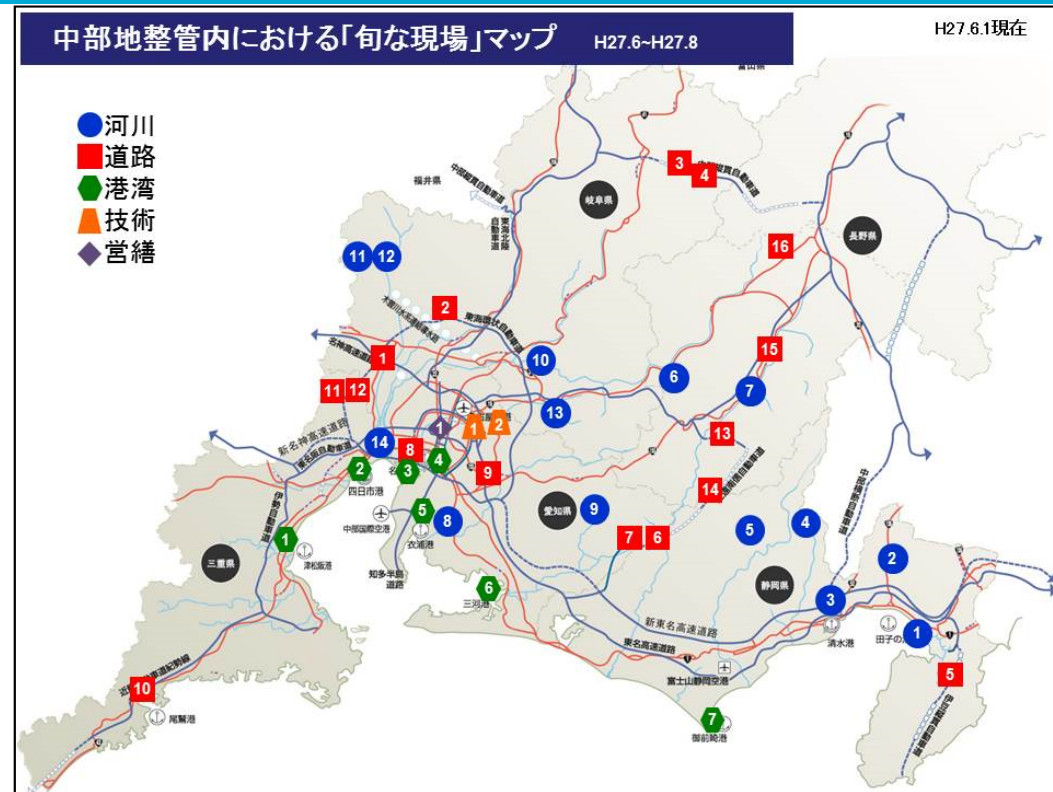
夏の旬な現場へ

河川 道路 港湾 技術 営繕

“すごい!”や“へえ~!”が、いっぱい

- ★ 暮らしと経済を支える**インフラ整備の最前線**です。
- ★ **いつもは入ることができない場所**も見学できます。
- ★ 「大きい!」「高い!」**迫力を実感**してください。
- ★ 夏休みの“**自由研究**”にも!

お気軽にお問い合わせ下さい。



テレビでの紹介事例

NHKの「おはよう日本」で、“見せます！巨大インフラ”と題し、旬な現場の見学会の様子を放映。

中部地整の取り組み ～旬な現場～

“旬な現場”で働く「若手技術者・女性技術者の声」を紹介！

旅行会社へもPR！！

旬な現場～若手技術者の紹介～

津松阪港 津地区 海岸堤防工事 (高潮対策)



2014年入社

- ・建設業に入った動機
東日本大震災の復興備えた防災事業に携わりたいと考えました。
- ・仕事の魅力
土木工事は大規模な力では完成させることが初めて完成できる仕事で皆で良いモノを造っています。

・現在の現場での役割

任された仕事をしっかりと行うことです。作業内容は測量、工事写真の撮影、出来形の測定および安全管理などを行っています。何事も積極的に小さなことから取り組むことが新人の私には大切なことだと考えています。

・現場で気を付けていること

現場には、さまざまな危険が存在します。しかし、現場経験が浅いため危険を察知することが難しいので、安全には細心の注意を払って仕事に取り組んでいます。また、先輩の指示や意見をしっかりと聞いて、さまざまな経験を積むことで自身が成長できるよう努力しています。



地域の海岸清掃に参加

旬な現場 ～女性技術者の紹介～
平成26年度 42号梅ノ木谷橋下部工事
発注者：紀勢国道事務所
受注者：日本土木工業株式会社



2006年(平成18年)入社

世古 香織

平成26年10月より、尾鷲北ICと尾鷲南ICを結ぶ熊野尾鷲道路の一部である、梅ノ木谷川橋(橋長...102m、幅員...9.5m)の下部工として橋台1基、橋脚2基を施工する工事現場に従事しています。

・建設業に入った動機

以前勤めていた土木会社で現場監督の書類作成補助作業として働き始めたのですが、写真見るだけでは施工状況を把握できず、直接見て理解したいと思い、工事現場へ出向き始めました。

建設業には全く興味はありませんでしたが、時にはビビリしていたり、時には和やかな掛け合いながら、皆で一つの工事を完成させていくその様子に惹かれ、私もその一員と一緒に働きたいと思うようになり、現場監督を目指すようになりました。

・働いていて感じること

面白そうだと思って飛び込みましたが、人とのコミュニケーションや施工管理の難しさ、現場の危険な状況等に逃げ出したくなるような時も度々ありますが、周りのたくさんの方々に助けられながらなんとか乗り越え、無事に工事を終えた後はなんとも言えない清々さを感じます。

工事現場に私一人がいても何も出来上がりません。



女性が土木工事の現場監督になることは、周囲の理解と協力が必要ですが、決して不可能ではないと思います。

ご家族や知人から等、何かをきっかけにこういう仕事の選択肢もあるんだと、興味を持って女性がたくさん増えてくれると嬉しいです。

旬な現場 をご案内します。

- 整備局では、生活を豊かにするための社会資本整備を行っています。
- 河川・道路・港湾・防災など、皆さんの暮らしとの関係も、現場で実感してみませんか？
- 普段はなかなか目にする事のない、工事現場やダムなどの施設を公開します。
- 工事現場見学がひそかなブームに！ぜひ、お気軽にお問い合わせ下さい。

～旬な現場一覧～

一般の方はこちらをクリック

旅行会社の方はこちらをクリック

注意事項

※ 見学は平日に行います。
※ 事前申し込みをお願いします。
※ 人数で見学可能な施設もあります。
※ 天候や工事進捗により、見学を希望される方は、あらかじめ現場を担当する方へお問い合わせください。

工事現場やダムなどの施設見学を ツアーに組み込みませんか？

中部地方整備局では、社会資本の役割を知っていただくため、通常立ち入ることのできない工事現場やダムなどの施設を「旬な現場」として一般の皆さんに積極的に公開しています。
観光地に近い施設や工事現場もあることから、「旬な現場」をバスツアーなどの旅行企画に組み入れる等のお考えがあれば、ぜひご相談いただきたいと思います。

※「旬な現場」見学は、中部地方整備局が無償で対応いたします。
なお、工事現場については、工事の進捗状況により、対応できない期間がありますことを予めご承知おきください。



【問い合わせ先】
中部地方整備局 企画部 企画課
TEL:(052)953-8127
FAX:(052)953-8294

平成26年度は、“旬な現場”見学会を約560回開催し、約40,000人が参加

中部圏けんせつ未来懇話会

前回配布資料

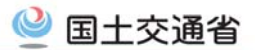
建設分野の担い手を巡る現状と行政側の取り組みについて

1. 建設産業の現状
2. 改正品確法
3. 中部地整の取り組み

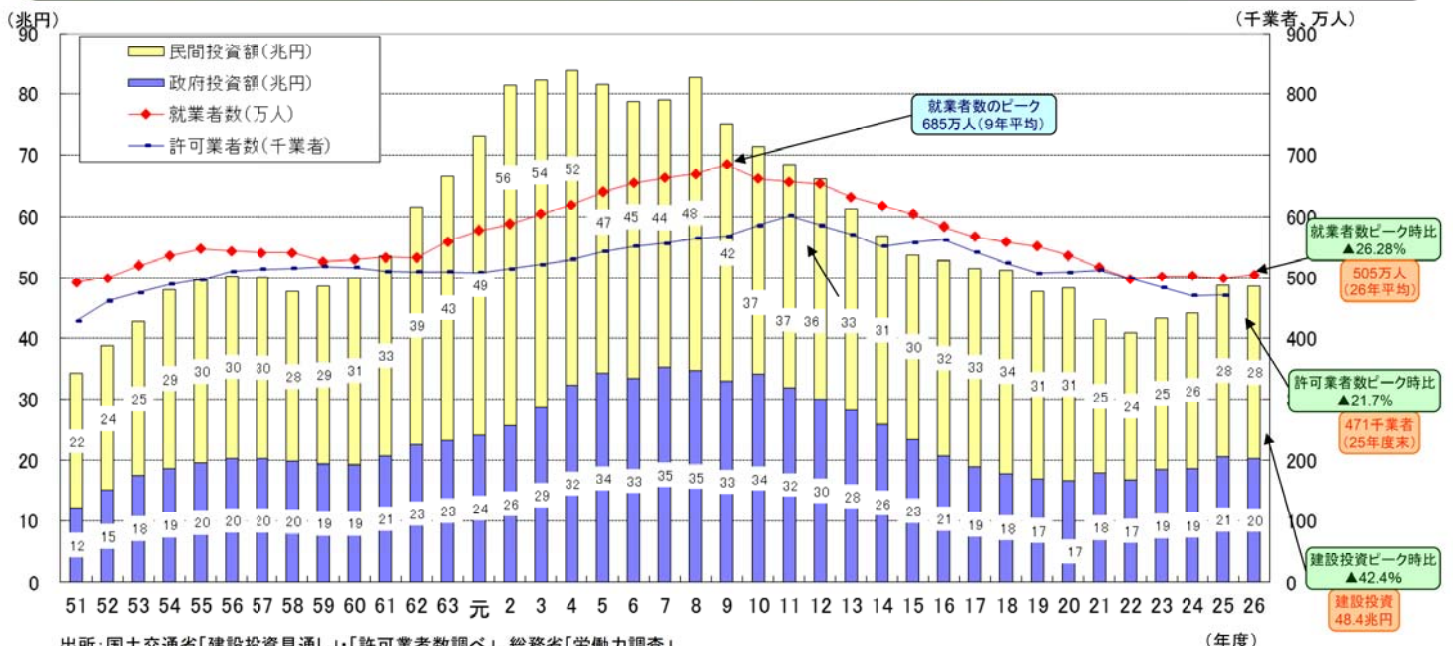


Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

1. 建設産業の現状 (1)建設投資、許可業者数及び就業者数の推移



- 建設投資額はピーク時の4年度:約84兆円から22年度:約41兆円まで落ち込んだが、その後、増加に転じ、26年度は約48兆円となる見通し(ピーク時から約42%減)。
- 建設業者数(25年度末)は約47万業者で、ピーク時(11年度末)から約22%減。
- 建設業就業者数(26年平均)は505万人で、ピーク時(9年平均)から約26%減。



出所:国土交通省「建設投資見通し」・「許可業者数調べ」、総務省「労働力調査」

注1 投資額については平成23年度まで実績、24年度・25年度は見込み、26年度は見通し

注2 許可業者数は各年度末(翌年3月末)の値

注3 就業者数は年平均。平成23年は、被災3県(岩手県・宮城県・福島県)を補完推計した値について平成22年国勢調査結果を基準とする推計人口で遡及推計した値

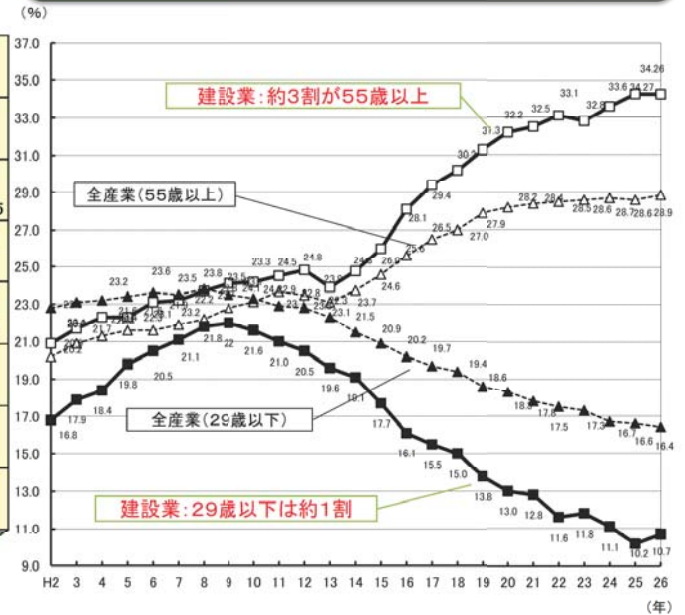
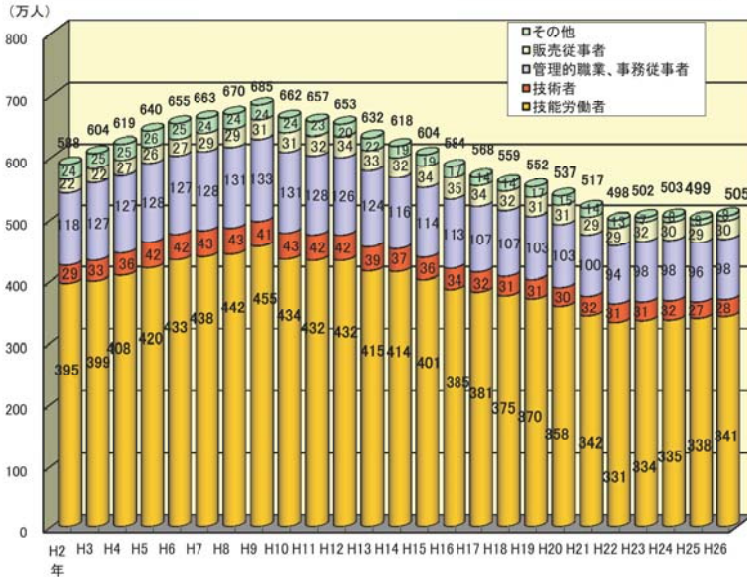
1. 建設産業の現状 (2)-①建設就業者の高齢化の進行

技能労働者等の推移

- 建設業就業者：685万人(H9) → 498万人(H22) → 505万人(H26)
- 技術者：41万人(H9) → 31万人(H22) → 28万人(H26)
- 技能労働者：455万人(H9) → 331万人(H22) → 341万人(H26)

建設業就業者の高齢化の進行

- 建設業就業者は、55歳以上が約34%、29歳以下が約11%と高齢化が進行し、次世代への技術承継が大きな課題。
- ※実数ベースでは、建設業就業者数のうち平成25年と比較して55歳以上が約2万人増加、29歳以下が約3万人増加(平成26年)



出典：総務省「労働力調査」(暦年平均)を基に国土交通省で算出
(※平成23年データは、東日本大震災の影響により推計値。)

出典：総務省「労働力調査」を基に国土交通省で算出

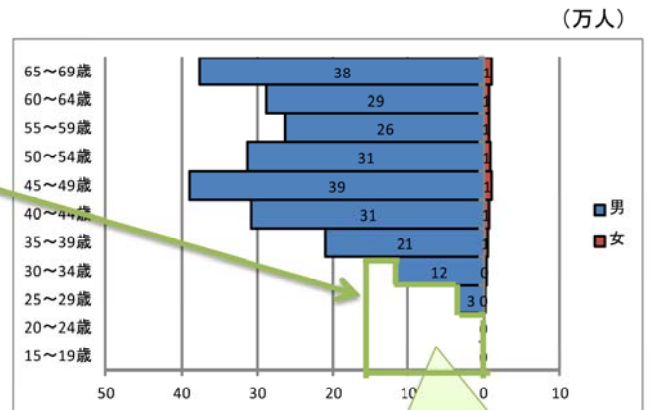
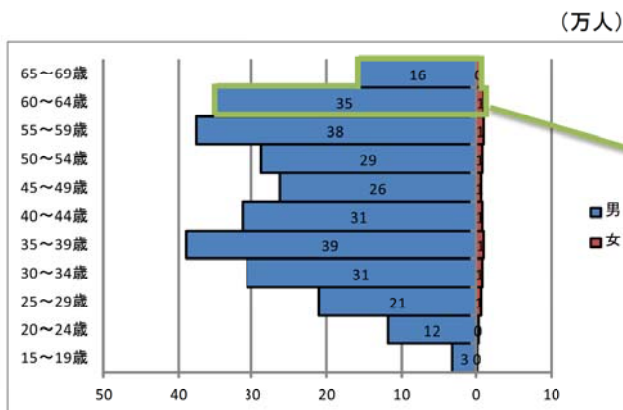
1. 建設産業の現状 (2)-②高齢者の引退、若年者の入職減

- 現在、**60歳以上の建設技能労働者等は52万人**存在し、全体の**約18%**に上る。
- **今後も引退による労働者数の減少は続き、10年後には、大半が引退することになる。**
- 他の年齢層においても年齢の上昇が見込まれる。→ **若年入職者の確保が課題**です。

※ なお、一定の能力を備えた技能労働者等を育成するためには、職種にはよるが、概ね10年程度の時間がかかると言われている。

平成22年の建設技能労働者等の人口ピラミッド

10年後の建設技能労働者等の人口ピラミッド(想定)

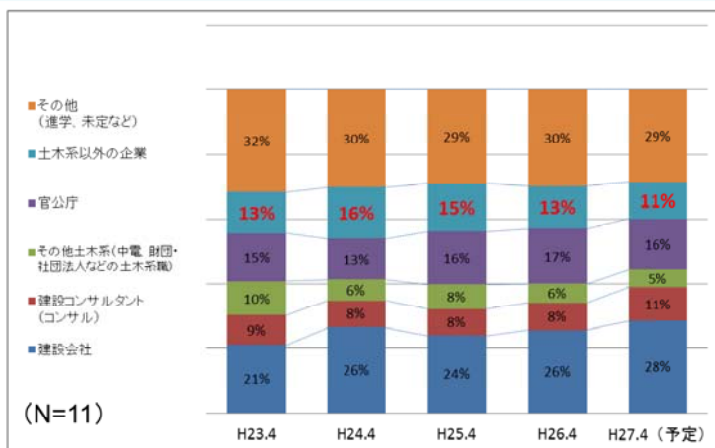


これだけの技能労働者を、若年入職で補填しなくてはならない。

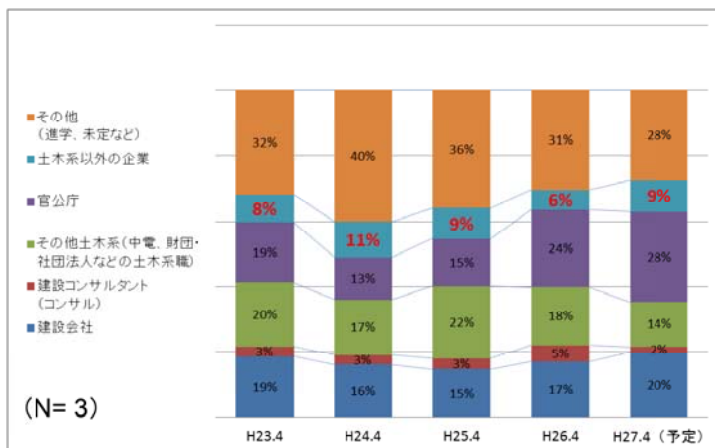
出典：総務省「国勢調査(2010年)」

1. 建設産業の現状 (2)-③学生(土木系)の就職先の傾向

【大 学】



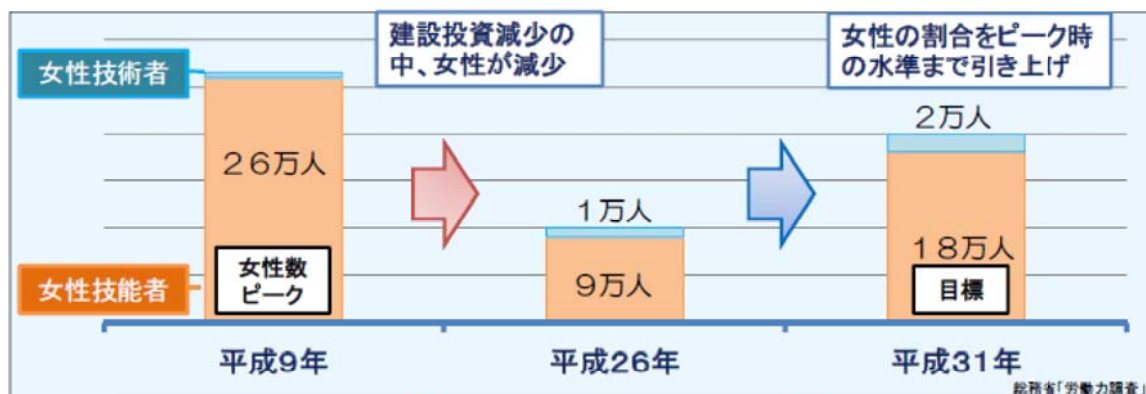
【高等専門学校】



データ出典: 参加依頼した学校(土木系学部)へのアンケート結果を中部地整で集計

1. 建設産業の現状 (3)女性技術者・技能者の現状

女性技術者・技能者を5年で倍増 10万人 ⇒ 20万人



	以前	直近	将来
女性技術者	平成10年頃から女性技術者の採用を本格化 (統計上把握可能なのは平成12年以降)	最近では女性技術者も増加 ※大手5社では新卒採用(技術者)の約1割が女性	女性技術者数を過去最高に
女性技能者	以前は今よりも多くの女性技能者が活躍(約6%)	建設投資急減の中、ピーク時の1/3に減少。(約3%)	女性技能者の割合を最高比率へ引き上げ(約6%)

1. 建設産業の現状 (4)建設企業の声 ※中部建設業現場レポート(H26.12.24公表)より

「中部建設業現場レポート」の概要

<内容> 管内各地域の地元建設業者に対して、景況感(受注状況)、技能労働者の不足感、技能労働者の労務費相当額の状況等についてヒアリング・アンケートを実施して、その結果を中部地方整備局で各地域ごとに集計・集約。

<実施方法> メール、FAX等によるアンケート(182社)及び企業への個別ヒアリング(53社)により実施。※アンケートと個別ヒアリングを実施した企業は一部重複する。

<公表予定> 原則3月、6月、9月、12月の年4回

<対象地域> 愛知県、岐阜県、三重県、静岡県

H26年12月公表分の要旨等

景況感について

- 受注量が確保され良いと見ている。先行きについては、一般的にやや消極的に見ている。

<主なコメント>

- 土木と建築は棲み分けが出来ており、公共工事が増えて民間工事が出来なくなるようなことはない。(元請)
- 土木は例年通りの受注を確保し、今年の目標高は達成したが、来年についてはまだ達成していない。建築は、例年より多くの受注があり、工期が年度末に集中しているため工程を組むのに苦労する。来年については余力を残し、8割程度の受注を確保している。(元請)

技能労働者の不足感について

- 引き続きあると答えた企業が多いが、人のやりくりや工期設定の工夫などにより施工を確保している。元請・下請ともかなりの企業が採用に努めているが、採用は厳しい状況にある。

<主なコメント>

- 技術者、技能労働者とも不足気味。特に鉄筋、型枠、左官が顕著。東京方面での仕事のボリュームが多くなるにつれ、東への移動があると思う。(元請)
- 11~3月は繁忙期となり、下請技能者の取り合いになることから逼迫する。(元請)

技能労働者の労務費相当額について

- 横ばい又は緩やかな上昇となっているが、今後もその傾向が続くと見ている。

<主なコメント>

- 賃金水準は高いところで落ち着いてきている。これ以上上げても人の確保ができるとは限らない。(元請)
- 設計労務単価引き上げのおかげでH26年夏以降は10%くらい契約単価が上昇している。(左官)
- 民間では需給バランスで価格が決まるので、設計労務単価引き上げの影響はほぼ無い。保険料分の上乗せは民間発注者に理解してもらえない。(型枠)

景況感(受注状況)の地域別DI値

地域区分	H26.3 DI値 (良い-悪い)	H26.6 DI値 (良い-悪い)	H26.9 DI値 (良い-悪い)	H26.12 DI値 (良い-悪い)	
中部圏計	16	-4	23	6	
愛知県	尾張地方	24	8	38	23
	三河地方	19	-6	6	-13
岐阜県	美濃地方	43	-7	18	0
	飛騨地方	54	0	23	-8
三重県	北中部地方	-11	-12	17	5
	南部地方	-34	-27	-8	-34
静岡県	東部地方	31	-16	15	0
	中部地方	-8	-30	8	7
	西部地方	0	0	30	7

6

2. 改正品確法について

公共工事の品質確保の促進に関する法律の一部を改正する法律

<背景>

- 〇ダンピング受注、行き過ぎた価格競争
- 〇現場の担い手不足、若年入職者減少
- 〇発注者のマンパワー不足
- 〇地域の維持管理体制への懸念
- 〇受発注者の負担増大

<目的>インフラの品質確保とその担い手の中長期的な育成・確保

- H26.4.4 参議院本会議可決(全会一致)
- H26.5.29 衆議院本会議可決(全会一致)
- H26.6.4 公布・施行

☆ 改正のポイントⅠ:目的と基本理念の追加

- 〇目的に、以下を追加

- ・ **現在及び将来の公共工事の品質確保**
- ・ 公共工事の品質確保の **担い手の中長期的な育成・確保** の促進

- 〇基本理念として、以下を追加

- ・ 施工技術の維持向上とそれを有する者の **中長期的な育成・確保**
- ・ 適切な点検・診断・維持・修繕等の **維持管理の実施**
- ・ 災害対応を含む **地域維持** の担い手確保へ配慮
- ・ **ダンピング受注の防止**
- ・ **下請契約を含む請負契約の適正化**と公共工事に従事する者の **賃金、安全衛生等の労働環境改善**
- ・ 技術者能力の資格による評価等による **調査設計(点検・診断を含む)** の品質確保 等

☆ 改正のポイントⅡ:発注者責務の明確化

各発注者が基本理念にのっとり発注を実施

- 〇 **担い手の中長期的な育成・確保のための適正な利潤が確保** できるよう、市場における労務、資材等の取引価格、施工の実態等を的確に反映した **予定価格の適正な設定**

- 〇 **不調、不落** の場合等における **見積り徴収**

- 〇 **低入札価格調査基準** や **最低制限価格** の設定

- 〇 **計画的な発注、適切な工期設定、適切な設計変更**
- 〇 発注者間の連携の推進 等

効果

- ・ **最新単価や実態を反映した予定価格**
- ・ **歩切りの根拠**
- ・ **ダンピング受注の防止** 等

☆ 改正のポイントⅢ:多様な入札契約制度の導入・活用

- 〇 **技術提案交渉方式** →民間のノウハウを活用、実際に必要とされる価格での契約

- 〇 **段階的選抜方式** (新規参加が不当に阻害されないように配慮しつつ行う) →受発注者の事務負担軽減

- 〇 **地域社会資本の維持管理に資する方式** (複数年契約、一括発注、共同受注) →地元にも明るい中小業者等による安定受注

- 〇 **若手技術者・技能者の育成・確保** や **機械保有、災害時の体制等** を審査・評価

3. 中部地整の取組 (1) 女性・若手技術者の登用・育成の取組(試行)

【背景】

6月24日に閣議決定された経済財政運営と改革の基本方針『骨太方針』には、少子高齢化対策を検討課題にするとともに女性の活躍促進が明記されました。

4月24日に国土交通省と建設業5団体共同で夏までに「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」(仮称)を策定することを申し合わせました。

また、(一社)日本建設業連合会との意見交換において、「若齢の技術者・技能者が少なく、技術の伝承ができない」等の課題が指摘されています。

① 女性技術者配置工事の試行

【試行の目的】

女性技術者の配置を入札参加要件とする工事を実施し、建設現場における女性の登用を促進

【試行方針】

- ・入札参加要件として女性技術者(監理(主任)技術者、現場代理人、担当技術者のいずれか)を配置
- ・女性技術者が担当技術者の場合は、工期の半分以上の配置を義務化
- ・女性技術者が現場で働くために必要な施設・設備等については、協議により実費を計上

② 若手技術者登用・育成工事を評価する試行

【試行の目的】

若手技術者を配置予定技術者[監理(主任)技術者]へ登用した工事に対して工事成績において評価し、若手技術者の登用・育成を支援

【試行方針】

- ・若手技術者を監理(主任)技術者へ登用した工事に対して、取り組みが評価できる場合は工事成績において評価する
- ・若手技術者の対象としては、40歳以下

3. 中部地整の取組 (2) 良好な就業環境の取り組み(試行)

【背景】

経済財政運営と改革の基本方針『骨太方針』には、女性の労働参加と出産や育児の両立を目指すことが盛り込まれました。

また、(一社)日本建設業連合会との意見交換において、「時間外労働が多く、満身に休日が取れない」等の課題が指摘されています。

① 週休2日・工程調整綿密対応工事の試行

【試行の目的】

受発注者双方が工程調整を綿密に行うことにより、原則週休2日を確実に取得できるようモデル工事を実施し、若手や女性技術者が建設業へ入職しやすい環境を整備

【試行方針】

- ・週休2日が確実に確保できるよう受発注者間で工程を調整し施工計画を策定
- ・天候や地域住民対応等で土曜・日曜日の施工が必要となった場合には、原則振替休日を取得
- ・受発注者で関係機関及び地元等との協議・調整状況の工程調整をASP(情報共有システム)等を活用して綿密に行い、休日を確実に確保できる対応を実施

② 子育てしやすい職場環境対応工事の試行

【試行の目的】

若手や女性技術者が安心して働きやすい職場環境づくりに積極的な対応をするモデル工事を実施し、若手や女性技術者が建設業へ入職しやすい環境を整備

【試行方針】

- ・工事現場における子育てサポートとして、時短勤務、家事、育児、学校行事等について、若手技術者や女性技術者が実施・参加しやすくするため、現場を離れた場合に現場補助員を設置する等の工事現場環境整備を実施
- ・子育て支援に必要な施設・設備等については、協議により実費を計上

3. 中部地整の取り組み (3) 広報 ①旬な現場その1

みんなで行こう!

春の旬な現場へ

国土交通省の「へえ〜」、「なるほど」がいっぱい

- 河川
- 道路
- 港湾
- 技術
- 公園
- 営繕

「驚き」や「新たな発見」が、いっぱい

- 整備局では、生活を豊かにするための社会資本整備を行っています。
- 河川・道路・港湾・防災など、皆さんの暮らしとの関係を、現場で実感してみませんか？
- 普段はなかなか目にする事のない、工事現場やダムなどの施設を公開します。
- 工事現場見学がひそかなブームに！
お気軽にお問い合わせ下さい。

中部地整管内における「旬な現場」マップ H27.3-H27.5 H27.2.28現在

- 河川
- 道路
- 港湾
- 技術
- 公園
- 営繕

狩野川の治水の要を見てみよう!
～巨大な河川トンネルの探検～

河-1

● 狩野川治水は、伊豆の国中の地之上、伊豆長岡出発所の治修から狩野川を分派し、沼津市口野から沼津湾にそそぐ約30kmの人工水路です。
● 沼津のトンネル区間を有する全国の治水路の中でも珍しい構造となっており、分派地点のゲートを開放することにより、1秒間に最大2,000m³(25mプール6杯分)もの洪水を流すことができます。狩野川のはんご防止の要と見なされています。
● 狩野川治水の見学会を実施しております。詳細についてはお問い合わせください。
● 申込 5～20名程度(小学生以上)の団体を対象に事前予約制です。申込 052-344-0022
● 申込先 中部地方整備局整備部長高橋謙一 052-344-0022
● 申込先 中部地方整備局整備部長高橋謙一 052-344-0022
● 申込先 中部地方整備局整備部長高橋謙一 052-344-0022

治水の治水路状況(平成19年9月)

位置図

小学生にも治水路トンネルの見学

3. 中部地整の取り組み (3) 広報 ①旬な現場その2

中部地整HP上に「若手技術者の声」を掲載

旅行会社へもPR!

旬な現場～若手技術者の声～

平成25年度木曾川源緑高潮堤防補強工事

～地固のために地震に強い高潮堤防を作る～

新田 勝紀

2005年入社

◆建設業に入った動機

“将来、自分の子供に自慢できるものを作りたい!”というのが動機でした。

◆仕事のやりがい

伊勢湾台風により高潮被害を受けた地域の防災・減災に関わる重要な工事に携わっていることが自身の使命感と充実感に繋がっています。

◆建設業入職を希望する若手

建設業は社会資本整備の中核を担っており、日々技術と仕事の積み重ねが成果として現れる職種です。モノづくりの感動と達成感は一何にも勝る魅力があります。皆さんが日常的に使っているインフラの一つひとつには、建設業で働く人たちの努力や感動の物語が詰まっており、これから建設業に入職を希望される若い技術者の方にも是非、そういった物語を作っていくってほしいと思います。

【工事概要】

本工事は、木曾川左岸の高潮堤防の緩い砂層(赤色部)に、砂圧入式的静的重め工法を用いて砂を圧入することで地盤の強度を向上させ、地震発生時における堤防の液状化を防止することを目的としています。

【工事位置図】

旬な現場 をご案内します。

- 整備局では、生活を豊かにするための社会資本整備を行っています。
- 河川・道路・港湾・防災など、皆さんの暮らしとの関係を、現場で実感してみませんか？
- 普段はなかなか目にする事のない、工事現場やダムなどの施設を公開します。
- 「驚き」や「新たな発見」が、いっぱい。ぜひ、お気軽にお問い合わせ下さい。

～旬な現場一覧～

一般の方はこちらをクリック

旅行会社の方はこちらをクリック

工事現場やダムなどの施設見学をツアーに組み込みませんか?

中部地方整備局では、社会資本の役割を知っていただくため、通常立ち入ることのできない工事現場やダムなどの施設を「旬な現場」として一般の皆さんに積極的に公開しています。

観光地に近い施設や工事現場もあることから、「旬な現場」をバスツアーなどの旅行企画に組み入れる等のお考えがあれば、ぜひご相談いただきたいと思います。

※「旬な現場」見学は、中部地方整備局が無償で対応いたします。工事の進捗状況により、対応できない期間がありますことを予め承知ください。

【問い合わせ先】
中部地方整備局 企画部 企画課
TEL:(052)953-8127
FAX:(052)953-8294

3. 中部地整の取り組み (3) 広報 ②大人の社会見学会

- 社会基盤等の整備に関心のある方を対象とし、「旬な現場」(今しか見られない工事現場)や各施設等の紹介に加え、河川、道路、港湾整備等の必要性、災害対応等についても説明する会
- 第2回(平成26年7月23日)は、テーマを「港」とし、名古屋港の役割や歴史、防災対策などについて説明を行った後、「翔龍」「第三明竜」の2隻の船に乗り込み、船上から防波堤の整備状況や、物流の要であるコンテナターミナルなどを見学しました。また、停泊中の「清龍丸」の間近まで近づき、浚渫や油回収、災害支援などの役割についても説明を行いました。

■見学会概要

日 時：平成26年7月23日(水)
13:00~16:00

場 所：名古屋港弥富ふ頭
現場事務所インフォメーションセンター

参加者：19名(男性13名、女性6名)
※今回は37歳~75歳の方が参加

【座学】

名古屋港の役割、歴史にくわえ、防災対策などの社会資本整備・保全の必要性について説明(約30分)

【現場見学】

港湾施設や防災施設等を船上より見学(約2時間)

●座学



【座学の様子】



【熱心に耳を傾ける参加者】

●船上からの見学



【船内での説明の様子】



【コンテナターミナルの見学】

3. 中部地整の取り組み (3) 広報 ③出前講座の開催

○学校関係への出前講座の実施

国土交通省中部地方整備局の職員が津波・地震などの災害対応における建設業の役割などを内容とする出前講座を中学、高校を対象に実施。

(内容)

- 動画を交えたパワーポイントによる講義
- ・東日本大震災の際の緊急対応
- ・南海トラフ巨大地震へ備える
- ・防災活動における建設業者の役割
- ・建設工事の紹介 等



(イメージ)

大型土のう設置作業



建設業の役割伝える
中部圏広報NW協
中学校で出前講座

(11/10)建設通信新聞

平成26年度 出前講座開催状況

(中部地方整備局)

開催日	地区	学校名	受講者数
10月23日	愛知県	愛知県立丹羽高等学校	40人
11月5日	愛知県	東海市立富木島中学校	370人
11月7日	静岡県	静岡県立静岡聴覚特別支援学校	15人
12月4日	愛知県	豊橋市立本郷中学校	40人
12月8日	愛知県	名古屋市立はぐり中学校	80人
12月10日	愛知県	学校法人名古屋電気学園 愛知工業大学名電高等学校	60人
12月17日	愛知県	学校法人名工学園 名古屋工業高等学校	70人
1月28日	愛知県	愛知県立一宮北高等学校	700人
2月2日	愛知県	愛知県立知多翔洋高等学校	280人
3月11日	愛知県	豊川市立西部中学校	440人
3月12日	愛知県	愛知県立半田工業高校	29人

(講座の様子)



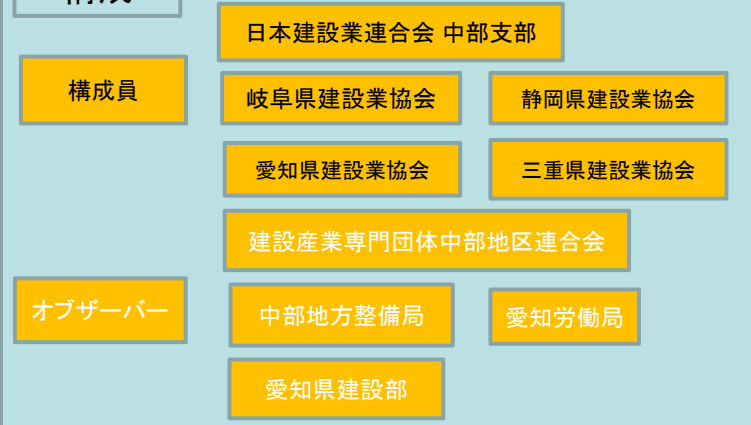
3. 中部地整の取り組み(4) - ①中部圏建設広報ネットワーク協議会への協力 国土交通省

中部圏建設広報ネットワーク協議会

(平成25年11月25日設置)

中部地方整備局管内(岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)の各県建設業協会等が、広報戦略を効果的に進め、建設業の魅力を発信し、入職促進を図る目的で平成25年11月に設立した協議会。行政機関はオブザーバーで参加している。

構成



これまでの活動

- 平成25年11月25日 第1回会議 設置
- 平成26年2月27日 第2回会議 関係者からの聞き取り結果の報告及び対策案の検討
- 平成26年6月25日 第3回会議 26年度広報戦略の決定
- 平成26年12月25日 第4回会議 27年度広報戦略の一部決定

平成26年度 中部圏建設広報ネットワーク協議会 広報戦略

(平成26年6月25日決定)

○建設若者塾

建設業界に入職した者の地域内交流、ネットワークづくりを目的として、3年以内の若年建設業従事者を対象とした研修会を実施。

平成26年10月3日(金)～10月4日(土)開催 45名参加

○休日休工の促進

(週休2日・工程調整綿密対応工事の試行中)

休日休工を目指した事業として**中部地方整備局発注工事で3件契約。**

○求人情報における取組

各企業の求人において企業情報として**中部圏で統一したキャリアパスを作成。**

○学校関係への出前講座の実施

津波・地震などの災害対応における建設業の役割を内容とする出前講座を中学、高校を対象に実施。

- ・東日本大震災の際の緊急対応
- ・南海トラフ巨大地震へ備えるインフラ整備
- ・防災活動における建設業者の役割

各県労働局、教育委員会等を通じて小・中学校、高校に講座開催を周知。(愛知県、静岡県内で11校実施)

○広報用DVD作成

中高生向けに、建設業のイメージを伝える短時間(10分程度)の広報用DVDを作成中。

(苦労話、やりがいを話すインタビュー、女性の活躍など、中高生が興味を持つ内容・長さのものを作成)

○Webサイトを活用した発信等

中部地方整備局HPに下記バナーを設置し、中部圏建設広報ネットワーク協議会のフェイスブックにて中部の建設業に興味のある方に対して情報を発信中。

(<https://www.facebook.com/chubu.kpin>)

3. 中部地整の取り組み(4) - ②建設若者塾の開催

趣旨 管内各県建設業協会等の広報戦略を効果的に進める目的で、平成25年11月に設立した中部圏建設広報ネットワーク協議会が、若年者を対象に建設業の職業観・就労意識の形成・向上を図りつつ、若者同士の交流・ネットワークづくりを促進することを目的として「建設若者塾」を開催した。

日時 平成26年10月3日(金)～4日(土)

参加者 愛知・静岡・岐阜・三重の若手建設従事者45名(内訳は下表)

内容 1日目 ○局長講話

- 建設業で働くことの社会的意義の理解(講義)
- 建設業で本当にあった心温まる物語の共有(グループディスカッション)
- ダントツすご技職人になるための計画作成(グループディスカッション)
- 親方への感謝の手紙(グループディスカッション)
- 交流会(腕相撲大会など)

2日目 ○NEXCO管制センター、名古屋城本丸御殿建設現場などの現場見学

報道 朝日新聞(10/4)、中日新聞(10/8)、建設専門紙、三重テレビ(10/20放映)等



(局長講話)

参加者内訳	人数計	職種別							
		監督	土木	製鉄大工	鉄筋	塗装	倉	左官	タイル
岐阜県	11人	8人	2人	1人					
静岡県	8人		5人	2人	1人				
愛知県	19人	7人	4人	2人	1人	2人	1人	1人	1人
三重県	7人	4人	3人						
合計	45人	19人	14人	5人	2人	2人	1人	1人	1人

(交流会)



(グループディスカッション)

建設業の若手
同世代と交流
名古屋で研修会

朝日新聞(10/4 朝刊)

3. 中部地整の取り組み (4) - ③ 広報用DVDの作成

中高生向けに、建設業のイメージを伝える広報用DVDを作成しています。

【内容】 10分程度で建設業の魅力を紹介

- ・名古屋発のアイドルユニットである「dela」による活気ある建設現場訪問
- ・未来の「けんせつ小町」も合流し建設専門学校の探訪
- ・まちづくりにおける建設業の役割
- ・東日本大震災の被災地における建設業の役割
- ・若い世代からのメッセージ



(オープニング)



(建設現場訪問)



(建設専門学校探訪)



(若い世代からのメッセージ)

建設業の担い手確保育成について(岐阜県)



丹生川ダム(平成25年10月1日グッドデザイン賞受賞)

①地域人づくり事業

A 建設業若年者発掘・育成事業(雇用拡大プロセス)

(概要)

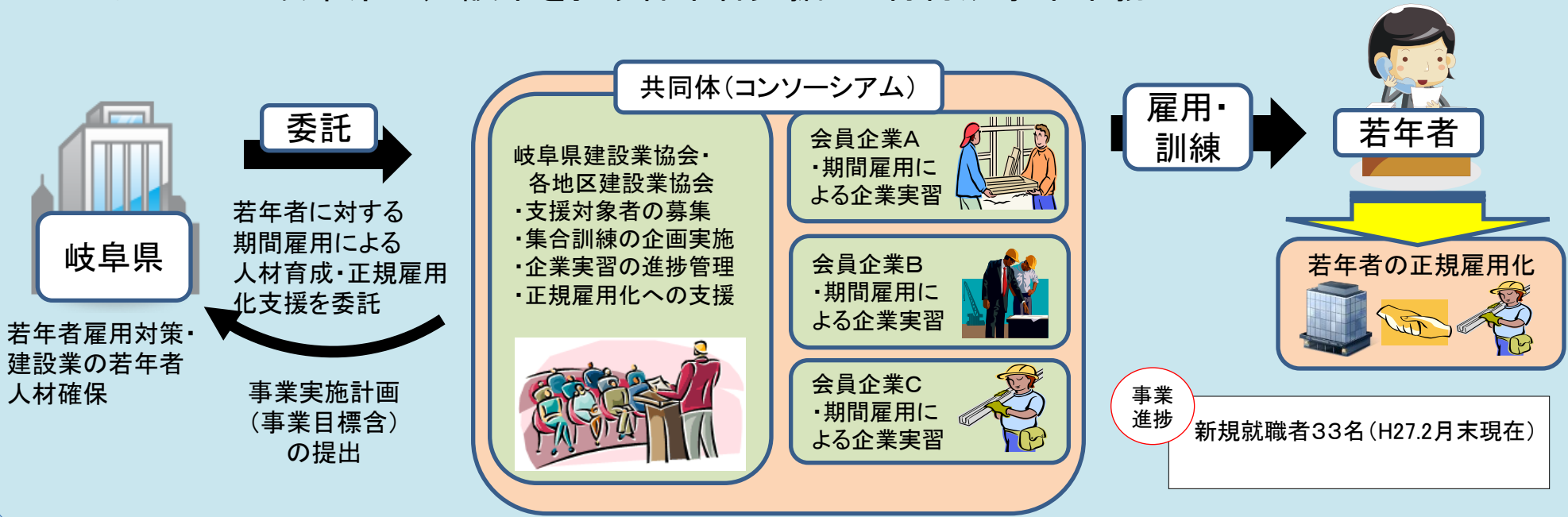
建設業における若年者の入職促進、人材育成を支援するため、建設業関連団体と会員企業等による共同体が、若年者を期間雇用し、集合訓練や企業実習を実施することにより、正規雇用につなげる。

(事業費)

・280,642千円(H26. 8. 28~H28. 3. 31)

(委託先)

・チャレンジ！岐阜県の建設業を担う若年者発掘・人材育成事業業務コンソーシアム



①地域人づくり事業

B 建設業若手技術者等育成事業(処遇改善プロセス)

(概要)

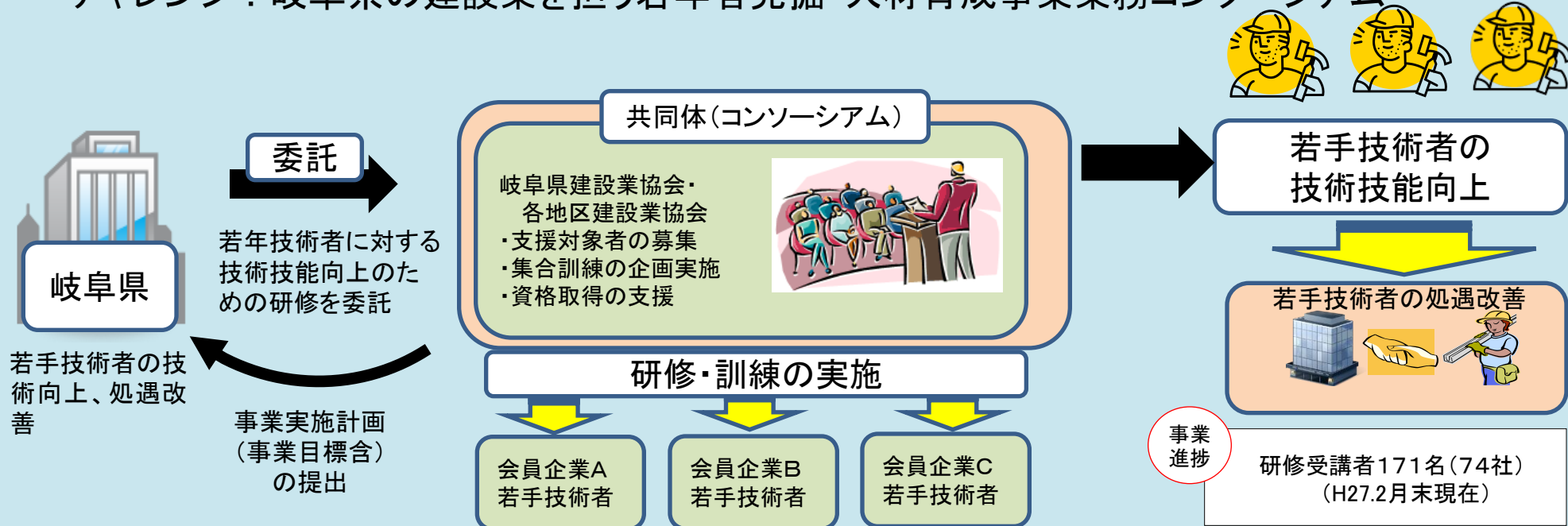
建設業の若手技術者・技能者が、建設関係の各種資格の取得や技術技能の向上のための研修カリキュラム等を受講することにより、各建設企業の生産性を向上させるとともに、建設業に従事する若年者の処遇改善(定着率向上)に繋げる。

(事業費)

・69,982千円(H26. 8. 28~H28. 3. 31)

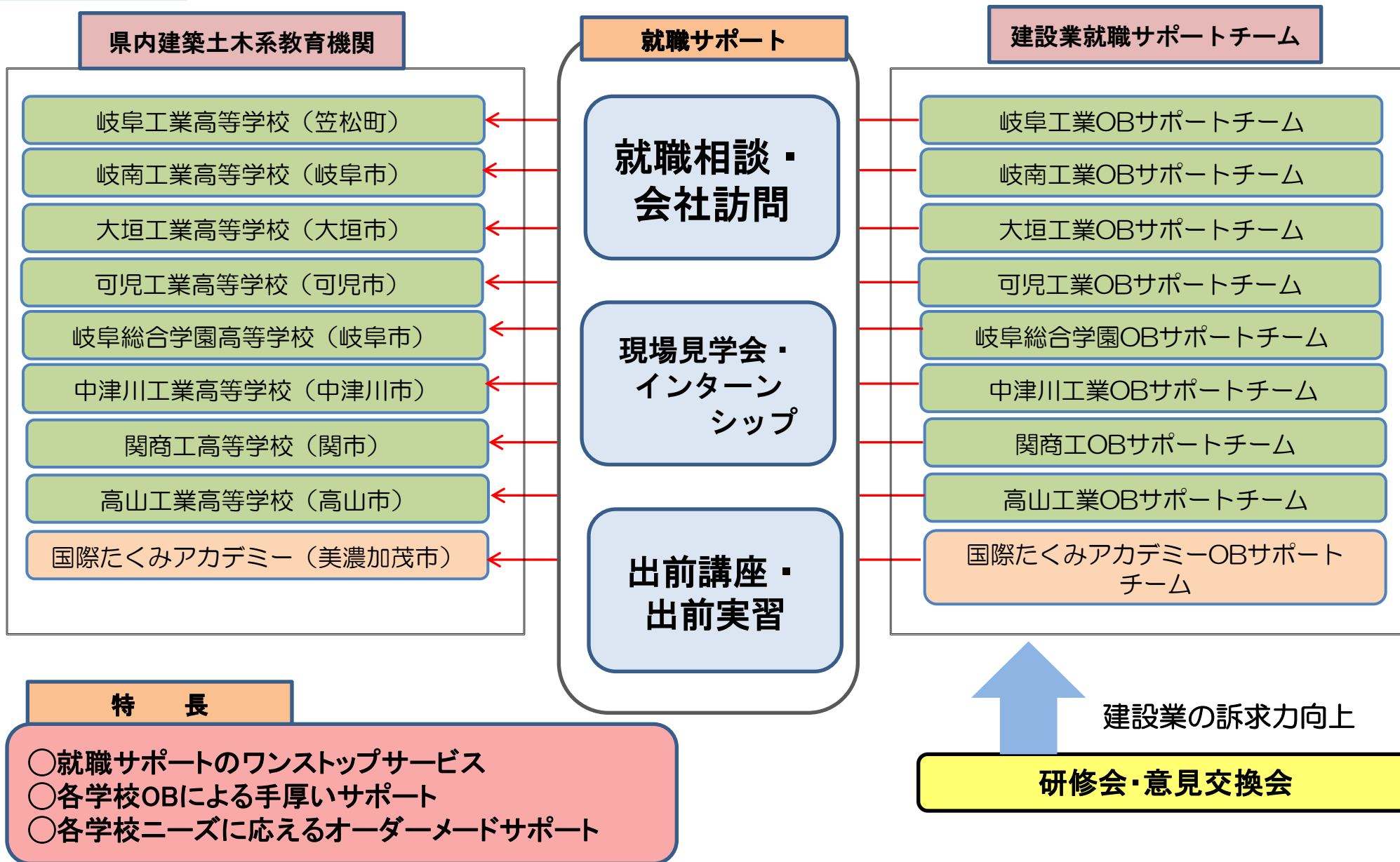
(委託先)

・チャレンジ！岐阜県の建設業を担う若年者発掘・人材育成事業業務コンソーシアム



②建設業OBサポート事業(イメージ)

事業イメージ



③建設業イメージアップ広報事業

(目的)

公共事業のイメージアップ、若者・女性への就職促進を図るため、特に「女性」の視点や県民の「身近な生活」の視点に立って、建設業が、誇りと希望の持てる仕事であり、地域になくてはならない産業であることを、わかりやすく県民に伝える。

(事業内容)

建設業のイメージアップ広報を県内各地域で各戸配布されるフリーマガジンに掲載する。
【県内11誌(11地域)、約71万部、(株)中広(岐阜市)発行】

(掲載内容)

- 10月号 2P いま、建設業がカッコイイ(女性技術者インタビュー記事)
- 11月号 1P 私たちの暮らしを支える土木(親子建設現場見学会記事)

【10月号】

いま、建設業がカッコイイ

女性技術者インタビュー記事

建設現場で働く女性たち

地域貢献活動

親子建設現場見学会

【11月号】

私たちの暮らしを支える土木

親子建設現場見学会

土木の役割

地域貢献活動

「子育てしやすい職場環境づくり」の取組紹介(静岡県)

～ 「子育てしやすい職場環境づくり」で “意外にも建設業の職場” が2年連続で高い評価 ～

- 静岡県健康福祉部では、企業における従業員の子育て環境改善を促進するため、平成25年度から経済4団体^{*1}と協力し、アンケート調査により安心して子育てをしながら働くことができる企業の発掘調査を実施
- 子育てしやすい職場環境づくりを実践している企業を、子育てと仕事の両立を示す指標（「ふじのくに企業子宝率^{*2}」）から判定した結果、2年連続で建設業の職場における子育て支援の取組が高い評価
（*被表彰企業における建設業が占める割合 H25：半数（4社／8社）、H26：約4割（3社／8社））
- 県内企業の職場において実践している子育て支援の取組を、県内外に広く情報発信を実施し、県内に働きやすい職場環境づくりを実践している企業がある旨のPR活動を行っている。

平成26年度 被表彰企業（建設業）の取組内容

企業名	企業子宝率	子育て支援における主な取組
(株)いちまるホームिंग 〈焼津市〉	2.173	○女性管理職（取締役営業部長、一級建築士）1名 ○女性の現場監督（建築士）3名（1名は育休後復帰） ○半日単位休暇取得制度の導入
岡野建設(株) 〈周智郡森町〉	2.116	○30分単位休暇取得制度の導入 ○子の看護休暇7日取得制度の導入
小林電気工業(株) 〈沼津市〉	1.981	○半日単位休暇取得制度の導入 ○社内情報誌を活用した社内コミュニケーションの円滑化

「企業子宝率」で模範
県が8社を表彰

新聞記事（静岡新聞）
平成27年2月17日（火）

静岡県ホームページ <http://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-130/kodakara.html>

- ※ 1. 経済4団体：県中小企業団体中央会、県商工会連合会、（一社）県経営者協会、（一社）県商工会議所連合会
- ※ 2. 「ふじのくに企業子宝率」とは、企業の従業員（男女を問わず）が、在職中にもつことが見込まれる子どもの数を表し、厚生労働省政策評価に関する有識者会議委員である「渥美由喜（なおき）氏」が考案した指標

建設産業担い手確保・育成対策支援事業

1 概要

建設業は、防災・減災、老朽化対策、耐震化、インフラの維持管理等の担い手として、その果たすべき役割はますます増大している。一方、建設投資の急激な減少や競争の激化により、建設業の経営を取り巻く環境は悪化し、ダンピング受注などによる建設企業の疲弊や下請企業へのしわ寄せを招き、本県においても現場の技能労働者の高齢化や若年入職者の減少といった構造的な問題が生じている。

平成26年6月に品確法等が改正され、担い手確保・育成の取組が、建設業者及び建設業者団体の責務として定められたことを受け、建設業者団体が今後積極的に担い手確保・育成対策に取り組んでいくことから、県は将来にわたる担い手確保のため、産学官が連携して建設産業への理解促進を図るとともに、建設業者団体の担い手確保・育成の取組を支援する。

2 事業内容

(単位：千円)

事業名		内 容	補助対象等	27年度 予算額
			補助率等	
建設産業担い手確保・育成対策支援事業	入職促進 対策支援	担い手確保の新たな取組に要する経費への助成 ・入職促進活動 ・広報活動 等	建設業者団体 1/2 以内 (限度額 1,000 千円) ＜補助事業＞	1,250
	人材育成支援 ・ 離職防止	担い手育成の新たな取組に要する経費への助成 ・技術研修会 ・女性・若者のネットワークづくり 等		
	建設産業 理解促進	建設産業への将来の入職動機付けを図る広報活動等を産学官が連携してコンソーシアムを立ち上げて実施 ・県等建設現場体感見学会等		1,250
			計	2,500

人材確保等の取組について

1. 人材確保と技術継承の現状

地域の建設業は、良質な社会資本整備、災害時等の安全・安心の確保、また地域雇用を支える産業として極めて重要な役割を担っています。

このような中、建設業界においては、就業者の減少と高齢化が進行していることから、若年者の人材確保や技術継承も重要であると認識しています。

県では、建設業の活性化のため、平成24年3月に「三重県建設産業活性化プラン」を策定し、技術力、地域貢献、経営力の3つをキーワードとした取組を進めているところです。

国においては、平成26年6月に「品確法（公共工事の品質確保の促進に関する法律）」を改正し、法の目的に「インフラの品質確保」と「その担い手の中長期的な育成・確保」を追加し、それに対する発注者責務を明確にしたところです。

これらのことは、三重県の取組と一致することから、県としては、「活性化プラン」に基づく取組を推進しているところです。

2. 具体的な取組

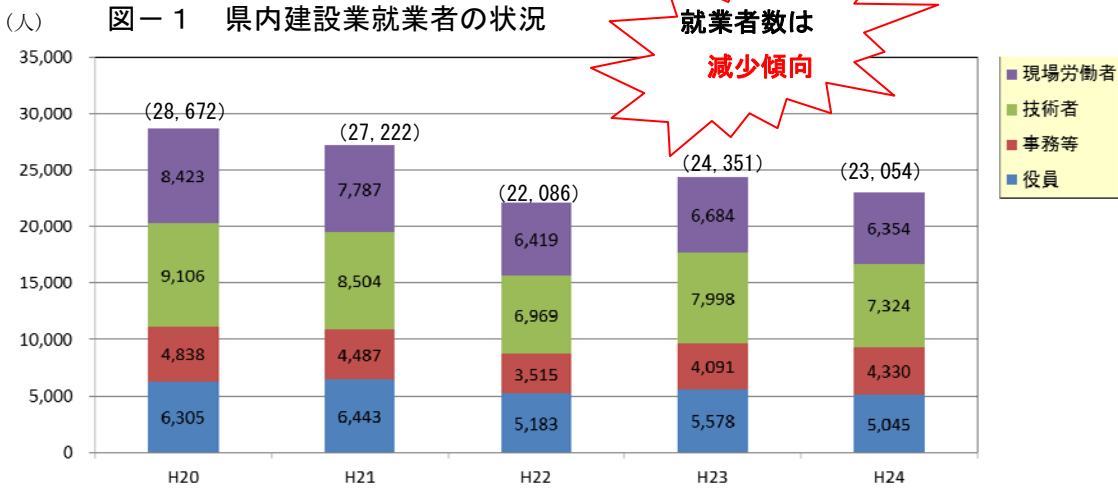
若年者の人材確保、技術継承にかかる具体的な取組としては、建設工事への理解を促し、建設業への就業につなげるため、生徒や教員に建設現場での作業の実態や最新の技術等を紹介する現場見学会や土木・建築系高校生のインターンシップなどを行っています。

さらに、平成26年度から、新しい取組として、厚生労働省の「地域人づくり事業」を活用し、建設業団体と連携して、若年者の入職、人材育成を支援するとともに、在職技術者に対しても、技能講習などの研修支援を行い、スキルアップしていただく事で、若年者への技術継承に繋げていく取組を行っているところです。

(参考) 建設業を取り巻く状況

(1) 建設業就業者の減少

県内の建設業就業者数は、平成24年度で約2万3千人と平成20年度に比べると約20%減少しています。



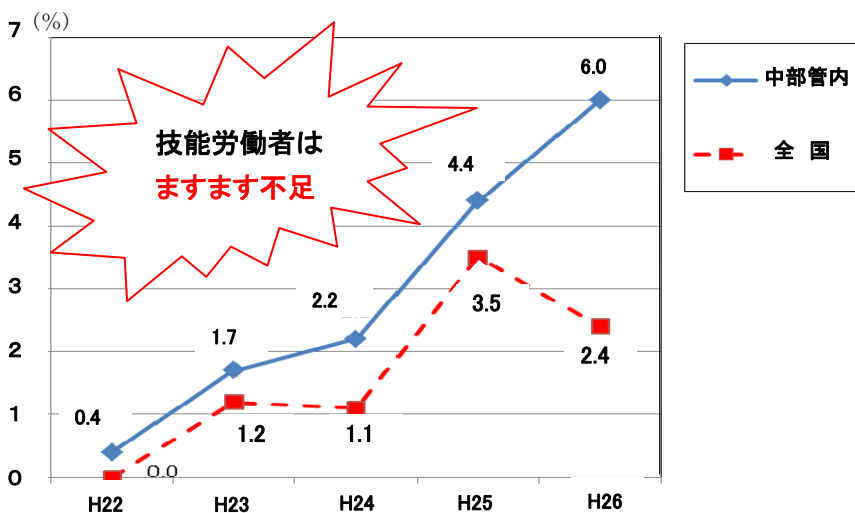
※出典 国土交通省 建設工事施工統計調査報告

就業者数:大臣許可業者又は知事許可業者に就業している常勤雇用者数の合計

(2) 技能労働者の不足

建設技能労働者不足率については、中部整備局管内で、6職種[型枠工(土木、建築)、左官、とび工、鉄筋工(土木、建築)]において、平成22年度には0.4%不足でしたが、平成26年度は、6.0%不足という状況です。

図-2 全国、中部管内の建設技能労働者不足率の推移



※出典 国土交通省 建設労働需給調査

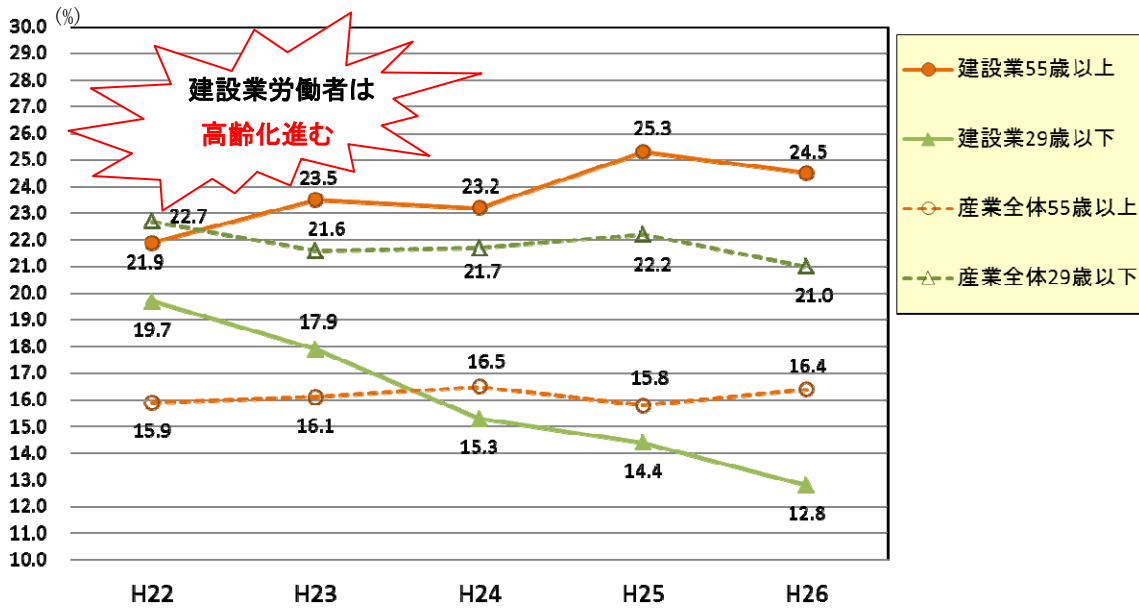
中部管内・・・岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

6職種・・・型枠工(土木、建築)、左官、とび工、鉄筋工(土木、建築)

(3) 建設業就業者の高齢化の進展

県内の建設業就業者の年齢構成は、55歳以上が平成22年度21.9%に比べ、平成26年度には、24.5%と、4年間で2.6ポイント高くなっています。また、29歳以下については、平成22年度19.7%に比べ、平成25年度には、14.4%と6.9ポイント低下し、産業全体と比べ高齢化や若年者数の減少が進んでいます。

図-3 県内建設業労働者の年齢構成



※出典 厚生労働省賃金構造基本統計調査を元に算出

労働者：常用労働者10人以上を雇用する事業所の常用・臨時雇用労働者

三重県建設産業活性化プラン

建設業の果たす役割

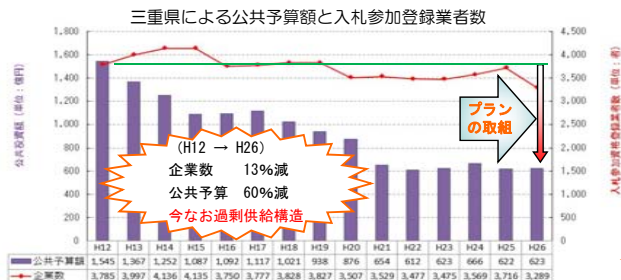
◆良質な社会資本整備

◆災害時等の安全・安心の確保

◆地域雇用を支える産業

建設業の現状

◆建設投資と企業数

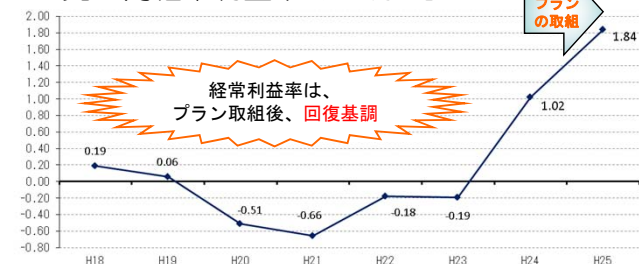


◆災害時の緊急対応

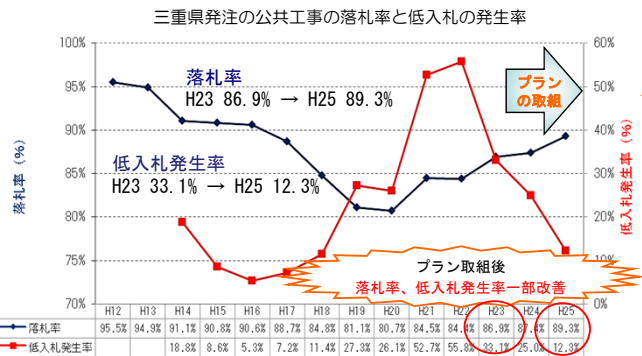


地域の建設企業が不眠不休で対応

◆売上高経常利益率(売上高1億円以上)



◆落札率と低入札の発生状況



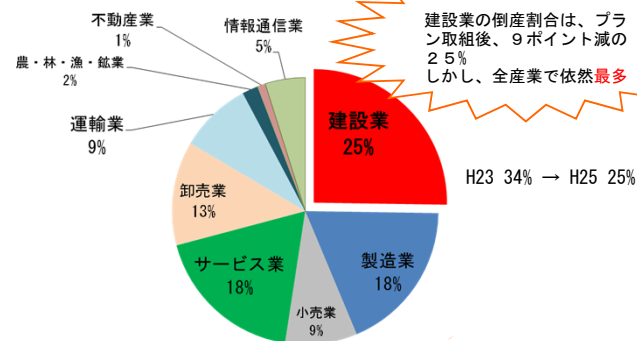
◆災害対応空白地域の発生

機動力のあるA・Bランクの企業は
プラン取組後、増加傾向
しかし、旧8市町では依然不在



地域の建設企業の緊急対応に対する負担は
依然大きい

◆産業別倒産件数



建設企業の経営状況はやや好転したものの
依然として厳しい状況

建設企業の受注状況は未だ厳しい

建設業が抱える課題

◆工事の品質低下への懸念

◆災害等の緊急対応への不安

◆地域経済への影響

将来ビジョン

技術力を持ち地域に貢献できる建設業
～確かな技術で地域に必要とされ未来に存続する～

(取組期間：平成24～27年度)

キーワード

技術力
—技術力の向上・承継—

地域貢献
—地域から必要とされる建設業—

経営力
—「技術力」と「地域貢献」を実現—

将来ビジョン

技術力を持ち地域に貢献できる建設業

～確かな技術で地域に必要とされ未来に存続する～

(取組期間：平成24～27年度)

キーワード

技術力

—技術力の向上・承継—

地域貢献

—地域から必要とされる建設業—

経営力

—「技術力」と「地域貢献」を実現—

取組目標

工事成績評定点の平均点

H22 81.8点 ⇒ H27 83.0点

地域・社会貢献に取り組む業者との契約率

H22 88.4% ⇒ H27 95.0%

売上高経常利益率の平均値(売上高1億円以上)

H22 Δ 0.18% ⇒ H27 +0.20%

取組

取組1 継続的な技術力の維持・向上

取組項目

- (1) 品質確保のための技術力向上
- (2) 技術力を持った企業の活用
- (3) 技術力を持った技術者の活用

取組2 優れた人材の確保・育成

取組項目

- (1) 新規就業者の確保
- (2) 若手技術者の育成と技術承継

取組3 受発注者間の連携強化

取組項目

- (1) 受発注者間のコミュニケーション向上
- (2) CALS/ECの推進

取組4 地域の安全・安心の確保

取組項目

- (1) 災害等の緊急対応への取組強化
- (2) 地域維持型の契約方式の導入

取組5 地域経済の活性化

取組項目

- (1) 地域雇用の確保
- (2) 地元企業からの資材購入

取組6 地域に貢献できる企業の存続

取組項目

- (1) 地域貢献活動の取組強化
- (2) 地域企業の活用推進
- (3) 不良・不適格業者等の排除

取組7 経営基盤の強化

取組項目

- (1) 経営の効率化
- (2) 経営相談・各種融資制度の活用・支援
- (3) 企業合併・連携の推進
- (4) 入札契約制度の改善

取組8 新分野進出による経営多角化

取組項目

- (1) 新分野進出の支援制度・体制の整備
- (2) 助成金等の活用促進

資料 4

日建連による「担い手の確保・育成」ための主な対策等
(平成 26 年 1 月～平成 27 年 2 月)

平成 27 年 3 月 16 日
一般社団法人日本建設業連合会

1. 本部（全国）施策 -方針・提言・計画・行事-

- ・適切な賃金水準の確保及び円滑な施工確保の基本方針
[平成 25 年度第 10 回理事会決定／平成 26 年 3 月 20 日]
- ・女性技能労働者活用方策、女性技能労働者活用のためのアクションプラン
[平成 25 年度第 10 回理事会決定／平成 26 年 3 月 20 日]
[平成 26 年 3 月 27 日・消費者庁／会長及び労働委員長]
- ・建設技能労働者の人材確保・育成に関する提言
[平成 26 年度第 1 回理事会決定／平成 26 年 4 月 18 日]
- ・予備自衛官の活用
[平成 26 年度第 1 回理事会決定／平成 26 年 4 月 18 日]
- ・もっと女性が活躍できる建設業を目指して（申合せ）
[国交省及び日建連等 5 団体／平成 26 年 4 月 24 日]
- ・改正品確法の理念の実現に向けた決議
[平成 26 年度第 2 回理事会決定／平成 26 年 6 月 20 日]
- ・「なでしこ工事チーム」の登録及び紹介 [平成 26 年 8 月 6 日～]
- ・もっと女性が活躍できる建設業行動計画
[国交省及び日建連等 5 団体／平成 26 年 8 月 22 日]
- ・もっと女性が活躍できる建設業を目指して－日建連の決意－ [平成 26 年 8 月 22 日]
- ・建設業で活躍する女性技術者・技能者の愛称「けんせつ小町」の決定
[平成 26 年 10 月 22 日]
- ・「日建連中長期ビジョン」中間取りまとめ
[平成 26 年度第 7 回理事会決定／平成 26 年 12 月 18 日]
- ・「社会保険加入促進要綱」の策定 [平成 27 年 1 月 19 日]

2. 中部支部施策 -行事-

- ・「中部圏建設広報ネットワーク協議会」への参加 [平成 25 年 11 月 25 日～]
- ・「愛知県イブニングサロン」への参加 [平成 26 年 5 月～11 月]
- ・「市民・学生現場見学会」の開催 [平成 26 年 7 月～11 月]
- ・「建設技術フェア 2014 in 中部／学生相談コーナー」への参加 [平成 26 年 10 月 29, 30 日]
- ・「女性建築技術者交流会」の開催 [平成 26 年 11 月 17 日]

以上

平成26年度入職・定着促進活動について

(一社)愛知県建設業協会

平成27年3月16日(月)

建設系高校生・入職促進事業

項目	日時	開催場所	内容
高校生対象 現場見学会 開催	9月9日	平成25年度名二環 梅之郷北5高架橋下部工事	愛知県立愛知工業高等学校 1年生
		公共下水道大手小学校調整池整備工事	参加者40名
	9月17日	(仮称)学校法人越原学園名古屋女子大学中学校高等学校新東館新築工事	愛知県立一宮工業高等学校 2年生
		(仮称)ラスバ太田川新築工事	参加者40名
	10月22日	蒲郡競走場立体駐車場整備工事	愛知県立半田工業高等学校 2年生
		知多浄水場浄水池築造(その3)工事	参加者38名
	10月29日	豊田あすけ水の館建設工事	愛知県立猿投農林高等学校 1年生
		中部建設技術フェア(吹上ホール)	参加者40名
	11月6日	155号東新北道路建設工事	愛知県立一宮工業高等学校 1年生
		名四国道豊田出張所管内整備工事	参加者75名

建設系高校生・入職促進事業

項目	日時	開催場所	内容
高校生対象 現場見学会 開催	11月10日	155号東新北道路建設工事 名四国道豊田出張所管内整備工事	愛知県立半田工業高等学校 1年生 参加者77名
	12月3日	一般国道151号 太和金トンネル (仮称) 建設工事 公共下水道雨水貯留施設整備工事 (野田公園)	愛知県立豊橋工業高等学校 2年生 参加者39名
	12月10日	平成25年度名二環 梅之郷北5高架橋 下部工事 豊田調整池築造工事	名古屋市立工芸高等学校 2年生 参加者40名
	12月19日	知多浄水場浄水池築造(その3)工 事 (仮称) ラスパ太田川新築工事	愛知県立豊橋工業高等学校 2年生 参加者40名
	H27.1月23日	公共下水道雨水貯留施設整備工事 (野田公園) 一般国道151号 太和金トンネル (仮称) 建設工事	愛知県立稲沢高等学校 1年生 集団インフルエンザのため中止

合計9回 参加者428名

2

建設系高校生・入職促進事業

項目	日時	開催場所	内容
高校生保護者対象 現場見学会 開催	9月19日	知多浄水場浄水池築造(その3) 工事(知多市佐布里地内) セントレアまるわかりツアー	参加者29名
高校生教諭対象 現場見学会 開催	8月22日	知多浄水場浄水池築造(その3) 工事(知多市佐布里地内) 瑞穂文化小劇場(仮称)及び瑞穂 図書館移転新築工事(名古屋市 瑞穂区豊岡通内)	参加者28名

3

建設系高校生・入職促進事業

項目	日時	開催場所	内容
高校生対象 モデル事業 出前授業の開催	7月16日～9月17日	愛知県立半田工業高校	「建設業の魅力について」 講師:愛知県建設業協会職員 「左官工事業について」 講師:愛知県左官業組合 「造園工事業について」 講師:愛知県造園建設業協会 各校 1・2年生受講
	10月28日～12月17日	愛知県立愛知工業高校	
	9月19日～11月27日	愛知県立一宮工業高等学校	

項目	日時	開催場所	内容
高校生現場 体験実習 (インターンシップ)	7月22日～8月28日	一宮市(6社)	愛知県立一宮工業高等学校 参加者11名
	7月22日～7月29日	岡崎市(4社)	愛知県立岡崎工業高等学校 参加者8名
	7月30日～8月27日	半田市(9社)	愛知県立半田工業高等学校 参加者17名
	8月4日～8月26日	豊橋市(6社)	愛知県立豊橋工業高等学校 参加者14名
	8月20日～8月26日	名古屋市(1社)	愛知県立愛知工業高等学校 参加者1名

合計26社 参加者51名

4

建設系高校生・入職促進事業

項目	日時	開催場所	内容
作文・ポスター 優秀作品表彰式	11月20日	栄ガスビル	高校生、専門学校生作文・ポスター入選作品の 入選者表彰状、記念品授与式 表彰作品数 7点(作文 4点・ポスター 3点) 応募総数 作文26点・ポスター48点
建設業 経理事務士	7月22日～7月23日	愛知県立豊橋工業高等学校	4級建設業経理士研修 参加者43名
	7月22日～7月23日	愛知県立半田工業高等学校	4級建設業経理士研修 参加者32名
	7月28日～7月29日	愛知県立一宮工業高等学校	4級建設業経理士研修 参加者34名
	7月28日～7月29日	名古屋市立工芸高等学校	4級建設業経理士研修 参加者27名
	8月27日～8月28日	愛知県立愛知工業高等学校	4級建設業経理士研修 参加者40名
	8月27日～8月28日	愛知県立岡崎工業高等学校	4級建設業経理士研修 参加者40名
	8月6日～8月8日	愛知建設業会館	3級建設業経理士研修 参加者3校9名

項目	日時	開催場所	内容
高校生教育研修会	8月18～22日	富士教育訓練センター	小型移動式クレーン技能講習修了証取得 等 5校参加(参加人数 生徒 26名 教師 1名)

5

建設系高校生・入職促進事業

項目	日時	開催場所	内容
高校教諭 スキルアップ 研修	10月16日	県立半田工業高校 実習室	県下建設系高校教師 20名
			[講師ご協力会社]
			・ (株)飯島鉄筋工業 ・ (有)山本鋼業
			・ 秋葉鉄筋工業(株) ・ (株)アイテツ
			・ (有)美和鋼業 ・ (株)マツモトカンパニー
			・ 並松工業(株) ・ 愛知県左官業組合連合会
			・ 愛知県左官高等学校職業訓練校
			・ 東海建設躯体工業会 ・ 知多左官組合
			[実習技能]
			・ 左官作業技能実習 ・ 鉄骨組立作業技能実習 ・ 型枠組立作業技能実習 ・ 足場組立作業技能実習

6

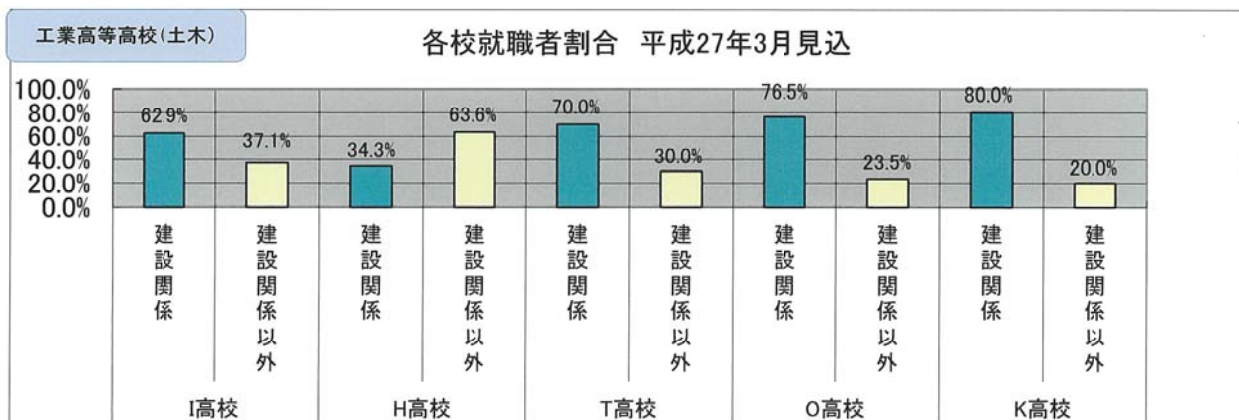
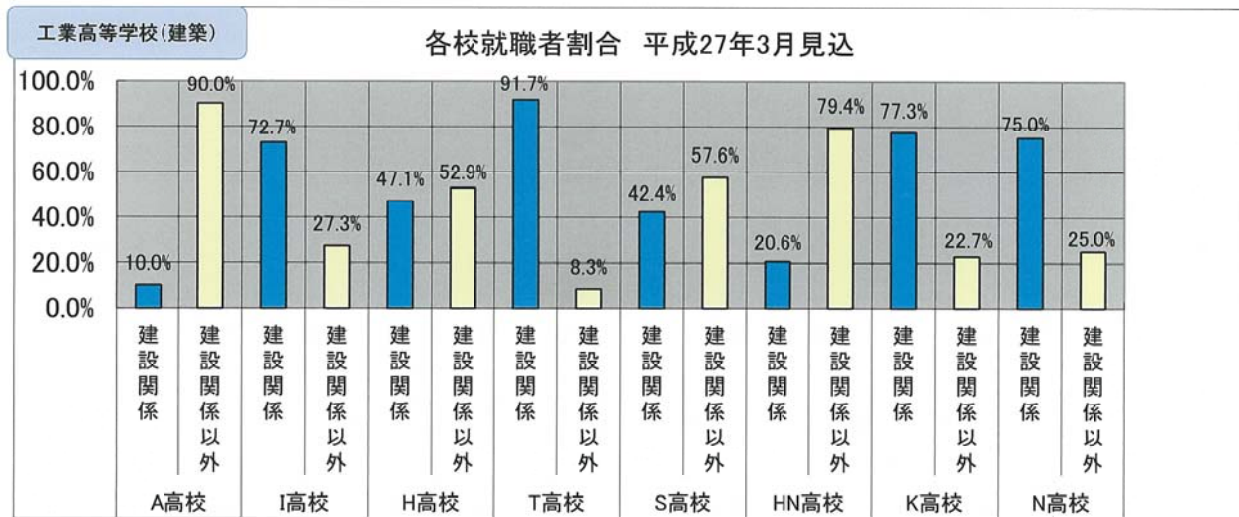
女性の入職促進事業

項目	日時	開催場所	内容
建設業女性 就業者座談会	H27. 1月20日	愛知建設業会館	「建設業で働く女性が入職者をどう増やすか」
			出席者 . . . 伊藤 泰栄 (東海建設)、
			柴田 沙耶華 (小原建設)、村田 史子 (徳倉建設)
			山口 悦子 (オノコム)、渡邊 裕子 (横井業務店)

定着促進事業

項目	日時	開催場所	内容
研修会	4月15～16日/ 21日～22日	金山プラザホテル	新入社員研修会(建設産業入職者) 受講者63名
	5月13日～14日	金山プラザホテル	若手社員能力向上研修会 受講者34名
	6月10～11日	金山プラザホテル	現場代理人を対象とした中堅現場担当者能力向上研修会
			(意識改革を進め、発注者、近隣等関係者との対応強化、交渉 技術力の向上を目指す上級者向けの教育) 受講者54名

7



3. CBCラジオによる広報活動

放送日時:毎週土曜日AM11時のニュース・道路情報に続いて5分程度放送
番組名:「広瀬 隆のラジオでいこう」の「ラブなご♡」コーナー(11:05頃から)

愛知県建設業協会では、建設業が果たしている役割を市民・県民の皆様にも正しく理解していただくことを目的に、25年度からラジオを媒体とした広報活動を開始しました。
これまでの内容としては、「これからのまちづくり」や建設業界の社会貢献活動に関する催事の開催案内や、暮らしの安心・安全につながる一口メモ、環境保全活動など、一般の方々に親しみやすい話題をクイズ形式で提供しています。

キャッチコピー
「暮らし支えるまちづくり
愛知県建設業協会」

<http://www.hicbc.com/radio/hirose/index.htm>

放送内容

10/4 茶碗一杯分の米になる 稲の株数は?	11/1 「土曜の日」って何月何日?	12/6 日本での地中熱ヒート ポンプの実績台数は?
10/11 建退共の加入労働者数と 同程度の人口の県は?	11/8 「KYミーティング」のKY は何の略称?	12/13 「温泉」と呼ばれるのは 何℃以上のも?
10/18 建設業退職金共済制度に 加入できない職種は?	11/15 「ドボジョ」に代わる 女性技術者の愛称は?	12/20 床暖房と日本人の冬の 過ごし方の関係
10/25 「エンジニア」という 言葉に対する昔のイメージ	11/22 我が国における 5歳児の人口は?	12/27 実際に設計検討された アニメの建造物は?
	11/29 働く人たちにとって 理想的な仕事とは?	